京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年(紀元二千五百七十一年)
本紙定價 ▲一ヶ月金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金一圓八十錢 ▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢 ▲特別欄は別に廣告 五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久一郎
印刷人 松久鐵一郎
發行所 京城四小門通 京城新報社 電話六五六、六三四番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

白菜栽培方法(上)

開城 直江道昌

朝鮮の蔬菜といへば、白菜を思ひ出し白菜といへば直ぐ開城を聯想するであらう、實に白菜は開城地方に於ける主産物の一つであつて、其品位が優良なる點に他地方産を凌ぎ、開城白菜の名は遠く日本内地までも通つて居る、斯くの如く開城白菜の他に冠絶せる所以は氣候風土の然らしむる所なるは云ふ迄もないことであるが、栽培法の如何に因る所も亦尠くなかろうかと思ふ仍つて今簡單の參考に資する爲め開城地方に於ける農民が行ひつゝある栽培法を左に紹介せう。

○土質 土質の良否は、何れの作物を栽培するにも大關係があるが白菜は殊に其關係が深い。開城地方が白菜の栽培地として獨り其名を擅にする所以のものは土質に適合することは確に其一因といつてよい、故に等しく開城といつても其土地には等差があり、尤も白菜栽培に適當せる土地の如きは現今地價一反歩二三百圓を唱へて居る、從つてかゝる土地は一年の收穫高百二三十圓を下らないのである、かくの如く土質に依り白菜の品位收穫を異にするも概していへば、土地の深層肥沃なる細砂質壤土は最も良く栽培に適する尚灌漑排水は白菜栽培上缺くべからざる作業中之に便利な所は最も都合がよい要するに開城地方の土質は天然に白菜栽培に適して居るのである。

○播種 白菜を栽培する畑は、前年秋穫後は別に何の手入もなさず、そのまゝにして置き翌春三月下旬即ち春分前後になれば牛耕を行ひ、此處へ播種用の株根を植付けるのである、其方法に就ては後段に説明する、

七月下旬になれば又牛耕を行ふ其際原肥として蠶糞を鋤き入れる、ろして俗に「カレ」といふ在來の農具で、幅六尺高さ二尺六七寸の畦を拵へ、畦の面を平坦に均らし八月上旬立秋の頃に至りて此上に四列に適宜點播するのである

○手入 播種後三四日經つと漸々發芽して來るで此際よく注意して三ッ葉に生じた頃、第一回の間引を行ひ、澤山ある中から良好なるもの四本を殘し同時に中耕と除草を兼ねて行ふ、そして更に間引した翌日位に水と等分に混合した人尿を施すのである、かくする中に段々生長して五葉位伸びた時第二回の間引をなし又其中から良好のもの二本を殘す此際中耕除草を行ふこと第一回の時と同じことである、又此頃に根際へ四寸程掘り蠶糞を適宜施用す、其後約十日を經て第三回の間引、中耕、除草、施肥を行ふ即ち三回目の間引に於て一株を殘すので、此に纖かい手入は一旦片付くのである、而して此後は灌肥(人尿)二回、中耕除草三回位を行ひ又側面灌漑をやつて始終土地の濕潤を圖るのである、大抵十月上旬から下旬迄の間に此側面灌漑を四回位行ふのである。

又、生育中側葉の先端が少しにても黄色になつたものは用捨なく掻き取つて行く、是は葉葵の肥大を圖るには須要の作業だといつて居る。

●鮮海出漁比較表

去る明治三十一年より昨四十三年に亘る十ケ年間に於ける朝鮮海出漁船數乘組人員漁獲見積價格を擧ぐれば左の如し(但し漁獲單位は千圓)

年別	船數	乘組人員	漁獲高
三十一年	一、三二三	五、四六六	一、四四九
三十二年	一、一五七	五、三三一	九九九
三十三年	一、六五四	八、一〇七	一、三五九
三十四年	一、四一一	六、一八七	一、六八五
三十五年	一、二五四	六、三二三	一、一四三
三十六年	一、六六九	七、一八〇	一、一四二
三十七年	一、五八一	六、九七五	一、四九九
三十八年	三、四四八	一〇、八〇三	一、八四四
三十九年	二、七四八	一三、二四五	二、〇二四
四十年	四、三二三	一四、一八二	三、七七九
四十一年	三、八九九	一六、六四四	三、四一八
四十二年	三、七五五	一五、七四九	三、〇七一
四十三年	三、九六〇	一六、五〇〇	三、九五二

●釜山商人と縣洞

釜山輸入商組合中二十一名が縣洞市街地の下附を受けて夫々新營を爲す由なるが右の中にて山本純一、松前才助、小澤卯三郎の諸氏は卒先して新營に着手すべく既に山本、松前氏等は工事受負人をして家屋建築に係る設計を爲さしめ居る由

雜錄

境遇と友情(上)

春川 やす井生投

野に山に皚々の白雪積もつては解けもやらず、晋盃の枯木に時ならぬ花を見ると言ふも、流石に一面の銀世界、▼何んどした絶景だらふ、炬燵に居てもア、寒い襟かき合さる、其の白かつた、寒かつた、淋しかつた、冬の黃粱一炊の夢と過ぎ去つては、軟風梅叢を翔り南枝の梅の一輪二輪と綻べば、さも日に増して京南へ馬嘶き我が世の春は深くなりまさるのみだ。

自分は今夕霞幕に被はれて暗に落ち行く寢戸の土橋に、いささ小川のささやきに聞きとれ乍ら立つて居る銀沙まばらな無限の蒼空を仰ぐ思は思を追て胸に迴り、ありし友の騷つた情は今更らの如く涙を流させもする。

顧みれば早や十星霜、下宿泣かせ臥白時の友の誰れ彼れは四散離落して邂逅亦期し難い或者は西の方雄圖を抱いて遠く鮮滿の國境に渡り、或者は仁術に志して首都に留まり草根木皮の研究に餘念もない、或者は運命の手の翻弄に任せ他界の鬼と化し、或者は永に愛欄の神座を解し不斷の精勵を唱へて田園に隱れて耕稼の業に餘念もない、ソーして自分も一度は三寸の毛管に累を得て操觚者の間に立ち交り甲斐なき筆を捨てがてに人生の多謀複雜に驚かされて處世難を唱へもした、十とせ前の今宵晴にもほの白き梅の花に對して、ベンチの欄に肱を凭せて若葉の上に浮世の空想に耽りもしたものだ。

外事一束

▲不穩 土耳古領内アルバニヤ人又も暴動の形勢あり土國軍隊急行軍す。

▲米國 加州議會の排日案は大統領の戒告により一時廢案となりしが又々▲一變し該案復活を叫ぶの議員出で下院の形勢益々非也若此案通過すも。

▲知事 は大統領の訓諭に基き證明を與へざるべし邦人の望は唯此一點也。

▲屈從 強硬なる露國最後の通牒に對し清國は露に滿足を與ふ可く回答す。

▲査し 清國は戰爭準備を缺ぐを以て他の行動を執る不能りしと信ぜらる。

▲交渉 數年來の懸案たる渤海灣漁業問題は近々奉天にて交渉開始の筈也。

▲清國 巡警暴行事件に付ては我政府は彼の回答次第により强硬談判の筈。

▲計畫 撫順石炭輸出の爲大連寨家屯間複線を奉天迄延長せんとの計畫中。

▲露國 下院議長グチコウ氏は辭職せり氏は現首相と政見を異にせる人也。

▲獨逸 皇帝は豫定通り墺國維也納を訪問二十五日イタリスに向はせらる。

▲停會 墺國上下兩院は二十五日より二十八日まで停會を命ぜられ居れり。

▲軍費 露國議會にて可決の軍用飛行機費は三千八百萬留なりと報ぜらる。

◎新刊紹介

△東京經濟雜誌(千五百八十七號)本誌巻頭記者市原盛宏氏の「朝鮮の經濟狀態並に貨幣制度」黑澤主計氏の「阪谷博士の朝鮮銀行設置論を駁す」齋藤菊太郎氏の「鎭南浦貿易與論」と商品の品位等なり(一冊十二錢東京市京橋區彌左衞門町經濟雜誌社)

△朝鮮農會報(第六卷第三號)農學博士の「朝鮮の酸性土壤」を始め朝鮮農業界に於ける調査資料を以て充され朝鮮文の方には同販農學士の耕作改良に對する有益なる說を載せたり(一冊二十錢京城大和町二丁目朝鮮農會)

文苑

◎韓山双樓曲

晴霞投

訪ふ人もなき韓山の 樓の繊月に雨降りて
ながめ寂しき文机に 倚りあるじは向なり

(二)
遠き昔をたづねつゝ 今の鑑になさなんと
史よむ人のそば近く 侘しき妹は立寄りぬ

(三)
取りてすゝむる酒肴 品は有あふ物ながら
心は今日のつれ〳〵を 慰めんとの一すぢに

(四)
から山里は淋しきも 互ひに思ふ妹と脊の
心の裡やいかならん その睦じさ美はしさ

召使れ初

第三十九回 黒法師

れ道はまこと此の返答に窮りて、現場を免れ去らんとまで思ひぬ、德右衛門の誠心を思はぬにては無けれど、墻を超ね香を竊むを、人間の最大惡事と思ひ決めし身は、彼に對ひて色ある返事を爲すべき心餘塵も無かりき、もし德右衛門強て迫らば、立ち所に一命を捨てたるかも知れじ、今までの恩は恩として忽ち富地を逃げ出したるかも知れじ

『此儀ばかりは平に御免しござりませ、私何れとも御返答致し難ぬるでござります』

『什麼との、この返答致し難ぬると噛りや私の心汲み取て呉れぬのぢや、ろなたまだ當家へ参らぬ程から、世にも情ある者と戀ひ慕ふてあつた、此心も反古にするのぢや』

『只御恕しござりませ、不義は家の法度でござりまするで』とれ道は次第に沈着きぬ一たんは心に浪も騷立ちて、身も詞も慄ふやうに感じたるが、やがて自然思ひ鎮りて、平生の様に復るさ共に、詞も聲も判然して『父母許可を得ませぬ間、御返答は致されぬでござります』

『おや此由て、ろなた承知の詞あらば私から佐五右衛門樣へれ願ひ、立派にれ許可を受けうと云ふ……』

『いかやう仰せござりましても、私心は……外れた事爲さみませぬ、』

『れ道どの〳〵』と彼方にれ政の呼ぶ聲して

『旦那樣れ召ませまする』

此呼び聲はれ道の爲に渡りの舟なりき、最後は斯うと覺悟しつゝも、困しくば德右衛門に恥辱を見せず、双方紅い斷見までに、快く彼の手より逃れ去らん、は、れ道が此場の思案なりき、然も德右衛門は執念く纏綿りて無法にも袖を捉らんとしぬ、今は恥辱與かせて非理を避けんとしぬ、無法にも座を立つ外わるまじく再び胸を騷がす時、れ政の呼び聲續いて聞こゆ『れ道どのござりませぬか旦那樣御用でござります、早う〳〵ござりませ』好き機會、願ふてもなき好き機會、れ道は卒然と起ち上りぬ

『旦那樣れ召し、斯うしては在られませぬ、御許しござりませ』と云ひ捨てゝ驅け行きぬ、德右衛門は殆ど掌の中の珠を奪られたる心地、沈と其後を見送りて、倒るゝ如く机に凭たゝ、外には老鶯の聲溢れるが、昨日の春を懸ふらしく鳴き交す

『盜賊でござります、盜人でござります、れ出合ひなされませ、れ出合ひなされませ』

消魂しく呼ぶ聲、失如として奧庭の中に聞ゆれば、德右衛門は長夜の夢より覺めたる如く身を起して、緣の障子をさつと開く、これに驚きてばら〳〵と翔け去る鶯の影、蝶の如く緣側に落つる間、消魂しき聲に愈よ迫りぬ

『盜賊でござります、曲者でござります、早うれ出合ひなされませ』

續いて起るは、店頭、番頭、國尾が供廻りの足輕、仲間、士共、追取刀に驅け付ける音頻りなり、德右衛門もれ道の綴緋に使ひたる短刀持ちて、庭傳ひに奧庭へ急ぎ行く、町人の伜に似ず、彼は武藝の心得ありき、聊かながら劍道の嗜みありき

奧庭の切戸口を出て人々の騷ぎ罵る方を見れば、今を盛りに咲き匂ふ牡丹畑の中に、兩刀挿したる浪人風の男を取り圍み、番頭手代丁稚下男、それに國尾が供廻りの者加はりて、口々に罵り雜言するなら、花の玉といふ牡丹の香りも、この騷ぎには打ち消されて、狼藉云はん方もなかりき

東洋拓殖株式會社
京城明治町三丁目
電話七九一、七九二

明治四十四年三月
當會社金融部は朝鮮拓殖上必要なる資金を左の方法に依り精々御便宜に御融通可致候

定期償還
一 不動産を擔保とする五年以内の貸付
一 公共團體に對する五年以内の無擔保貸付
一 生產又は獲得したる物品を擔保とする貸付
一 二十人以上の連帶債務者に對する五年以内の無擔保貸付

年賦償還
一 不動産を擔保とする十五年以内の貸付
一 公共團體に對する二十年以内の無擔保貸付
但し年賦貸付には其貸付年限中に於て五年以内の据置期間を御據定可致候

鑑定料
一 鑑定料は是迄實費を申受來り候處本年四月より借入申込金額に對する千分の三とし且一口の最高額を百五十圓に止むることに改定致候
擔保物又は事業設計
尚左記各地所在の出張所又は派出所へも貸付に關する用紙及書式類配付致置候に付御便宜の箇所へ御申込被下度候
馬山、釜山浦、大邱、江景、水原、群山、沙里院、泗川、金堤、開城

自分儀本年一月以降上京の所今般歸鮮致し候間從來の通り民刑訴訟事務の依頼に應ず
京城南大門通り四丁目
日本大學法律學士 岩本英夫
(電話一四二六番)

御披露
▲英ネル
▲セル地
新柄荷揃ひに付き
四月一日より同五日まで
▲五日間▼大賣出し
◎春向友染もり切見切反物澤山
京城本町三丁目
和洋太物店 (丸一)
電話六三五

來る四月三日
會場 東大門內訓練院
素人自轉車競走大會
雨天なれば九日日曜日
(會員は四月二日午後四時會場に集合し出走申込をなすべし)

開業御披露
花笑ひ鳥歌ふの候益々御機嫌麗しく被爲入大慶の至りに存候扨て弊樓儀開業準備中の處愈々萬事整頓致し艶麗花の如き美妓は孰れ劣らぬ顔揃ひにて四月一日より開業致し候に付向ふ一週間の內は臺附にて差上可申候間御客樣には賑々敷御光來下され度右御披露仕り候
仁川敷島遊廓
第一敷島樓
電話百六十二番

東京電報（卅一日）

▲參謀旅行演習 高級指揮官又は參謀將校の智能を養成するを目的とする本年度擧行の乙班參謀旅行演習は既定の如く步兵中佐森田氏外十五名の參加將校を以て演習部隊を編成し參謀本部第四部長重見少將總裁の下に來る四月十四日より二十七日迄で二週間山形縣下に於て擧行の事に確定したるを以て近々福島參謀次長より參加演習隊員に集合地を令達すべし

▲東宮殿下御台臨 皇太子殿下には山形縣下に於ける參謀旅行演習御見學の爲め陸軍中將の御資格にて演習地御臺臨あらせらるゝ豫定にて參謀本部にては山形縣知事と交涉の上御旅館等の準備中なり

▲東宮殿下御安着 皇太子殿下には今朝吳に御安着遊ばされたり

▲清國借款行惱 一時調印を了したりと迄傳へられたる英米獨佛四ヶ國對清五千万弗の借款問題は今尚交涉中にありて依然決定を見ず其根本的行惱の中心點は財政顧問にあるものゝ如く清國に於ては財政顧問の件は主義として承認するも借款の成立後に於て別に承認を爲すべしと主張するに對し四ヶ國の資本家側にては借款契約を爲すに當り先づ之を決定したる後ならでは本交涉を進捗せしむる能はずと主張し茲に本問題が依然行惱の狀態に陷れる次第なり右に付四ヶ國資本家側にても目下研究中にて現在の狀勢にては該借款の成立は前途尚遠きにあるべしと察せらる

▲諸法律公布 帝國議會の協贊を經たる左の法律は官報を以て公布せられたり
▲法律第四十三號、水道條例中改正法律▲同第四十四號 關稅法中改正法律▲第四十五號 砂糖消費稅織物消費稅等の徵收に關する法律▲同四十六號、工場法▲第四十七號、蠶米業法▲同第四十八號、樺太に於ける漁業免許取消及漁業計徵收に關する法律

▲樞密院會議 既電の如く二十九日午前十時三十分より宮中東溜に於て樞密院會議開かれ山縣、東久世の正副議長共に缺席に付芳川伯假議長席に着き桂首相、小村外相、平田內相、大浦農相、岡部法相の各大臣出席續いて畏上陛下には親しく臨御あらせられ第一に御諮詢案たる日米新條約に就て小村外相より右條約の締結の顚末及び逐條說明を爲し審議を凝らし可決次いで裁判所構成法を附議し岡部法相の說明ありて異議なく可決 聖上陛下には終始御熱心に議事を聞召され午後零時頃親しく入御次いで參列の各員退出したり

▲日英博官制廢止 勅令第三十五號にて日英博覽會事務局官制は今三月三十一日限り廢止せられたり

▲墨國內閣の交迭 堀口代理公使發電に依れば墨國內閣の人心緩和の爲め總辭職を爲し二十八日新內閣組織せられ駐米大使デラベラ氏新內閣總理大臣に任ぜられたり

▲日英條約調印 日英新條約は四月三日頃調印せらるべし

▲日米新條約發表期 日米新條約は二十九日樞密院會議に於て可決したるを以て二三日中に發表せらるべし

▲攝津進水式 吳軍港に於て戰艦攝津は今朝午前九時無事進水式を終りたり

▲韓國瓦斯會社內訌 韓國瓦斯電氣會社は今回社長牟田口元學氏辭任したると同時に重役全部辭任せり

▲間島領事裁判法 間島領事裁判法及之に伴ふ共助法は本日公布せられ其施行期日は勅令を以て別に定めらる

▲京都の大火 三十日午前三時京都新京極より出火し午前八時に至るも尚鎭火の模樣なし

彙報

●定例長官會議 三十一日午前十一時より定例長官會議を開き山縣政務總監以下倉富、石塚、木內、宇佐美、小松、鈴木、明石、池田、小城、俵の諸氏出席し午後一時散會せり

●臨時防疫委員會 三十一日總督府に於て臨時防疫委員會を開き明石、小城、鈴木、小原、藤田、岡本、中野、有賀、水間、寺尾、橋本、藥師川の各委員出席し豫て警務總監部に於て編纂せし事務規程につき審議し散會したり

銀行券發行豫想 三島韓銀理事談

韓國銀行に於ける銀行券發行高は一千九百萬圓內外を昇降し居るが最近の經濟界を顧みれば漸次增發を要するの好況に在り現に各支店出張所に於ける營業成績を見るに時に多少の消長あるも之を前年の同時期に比較せんか前途愈々多望なるを認む而して市場の概況夫れ斯の如く倍々好調なるより銀行券の需用は勢ひ增加すべきや疑ひなし而して一方に在ては政府事業に要する資金として一千二百萬圓の貸上を爲さゞるべからず該資金は公債に依る筈なるも當分之が募集を見ざるべきを以て其迄の間は政府の借入金として融通に調達を命ぜらるべし故に之が準備として必要の增發を爲すの要なし更に又他方に於ては

恩賜公債の買收希望者續々現出

し其額蓋し尠からざらんとす聞く處によれば總督府は是等希望者に對し總て認可を與へつゝある如し然れば其の買收に要する資金も亦發行高增加の一原因に數へざる可からざるなり旁々九月頃に到らば例年の例に依り經濟界必然の增發を促し更に一方如上政府關係資金及恩賜公債買收高の增加に伴ひ年末には三千萬圓の計數を見るべく豫想せらる兎に角必要に伴ふ發行高の增加は一般經濟界を益すべきを以て本年は昨年に比して大に活氣を呈すべきか云々

●地方官と召集 總督府にては近々各道長官を召集併合以來第一回の地方官會議を開く筈にて目下計劃中なりと

●道長官會議と議案 別項四月中旬總督府に開催の地方官會議は併合第一回の會議なるを以て總督府は地方制度の現狀刷新に關する諸問並に各道長官よりも多數の提出案あり之れに付協議する筈なりと

●道路工事竣成期 內務部地方局に於ては韓國政府當時即ち明治四十年五月以來各道々路工事は進捗し本年六月迄に遲くも全部竣工の豫定なるが總里數二百十九里三十二町にして三月一日までに竣工したる里數は百八十七里十三町なるが今其の全部を竣工したるものを記せば左の如し

線名	里程
鎭南浦平壤線	十三里四丁
群山全州線	十一里三十丁
木浦光州線	二十二里五町
水原利川線	十三里二十八町
公州小出里線	八里二十八町
新安州寧邊線	七里三十五町
淸津鏡城線	六里一町
海州龍塘浦線	一里二十一町
黃州停車場線	二十八町
新義州麻田線	十三町
大邱市街線	二十四町
仁川市街線	四町
海南河東線	四十二里三十町

●水道に關する官制 京城水道は愈々本日より總督府の經營に移るべく其事務は仁川水道と共に京畿道廳の管掌に屬せしむべき筈なるが現官制の規定にては之を許さゞるを以て近々相當官制を制定の上發布せらるべし而して夫迄の間は內容の引繼のみに止め諸般事務の進捗に差支なからしむべしと

●水道規則適用 京城水道の經營に就ては特別規則を制定して收支相償はしめんと議論起りたるが斯くては營利主義に傾き市民の利便を無視するの嫌あり隨て其反抗を恐るべしとの懸念より斷然規定の官營水道給水規則を適用する事に決せりと

民團と水道會社 寄附契約消滅す可し

水道會社が京城民團所管の道路使用に就き毎年一千二百圓の報償的寄附を爲すべき契約あるは世人の知る處なるが今回該水道は總督府に買收されたるを以て右契約の前途如何あらんと當局者に質問せしに其談に曰く總督府が買收せしものは水道の施設其者のみにして其以外のものは何等關係なし故に同會社が如何なる契約を民團に締結し居るも當局者の干知する處にあらず則ち該契約の如き一種の寄附義務は權利者の移轉と共に當然消滅すべきものなりと然るに民團にては水道會社の負へる義務までも總督府に繼承せるものと思惟し現に本年度豫算にも計上し居れるが結局行違を生ずるに到るべし

商議聯合會彙報

▲主催地と準備 內地及朝鮮の商業會議所聯合會は別項の如く嘗て其例を見ざる程の大會合なるのみならず參加會議所は孰れも會頭若くは副會頭を代表者として派遣さる可く隨て會議其者の勢力頗る重大なるは言ふまでもなし依て主催者側に立つ可き在朝鮮聯合會事務所にては過般來夜を日に繼いで準備に忙殺されつゝあるが然るに最も至要の關係ある山口會長は今尚悠々として東京に滯在し居る爲め昨日電報を發し至急歸來を促がしたりと

▲參加會議所 參加會議所は續々增加し豫期以上の會合たらん狀況に在り而して今日までに申込み來りたるものは左の如し
東京、京都、大阪、橫濱、神戶、長崎、函館、新潟、名古屋、廣島、川越、宇都宮、和歌山、小樽、佐賀、津、四日市、仙臺、直江津、富山、松江、青森、栃木、伏見、濱松、大垣、水戶、岡山、山形、德島、久留米、下の關、豐橋、鹿兒島、高岡、高知、尾ノ道、福井、長岡、甲府、高松（以上四十一ヶ所）
上の如く南は鹿兒島より北は小樽まで參加し來る筈なれば殆んど全國の會議所を網羅せりと言ふも不可なし其效果たるや區々地方的視察團の比に非ざらんか

▲出席者總數 各會議所よりの出席者は會頭若くは副會頭を派し書記長之に隨伴し來るべく然れば二名乃至三名宛を算すべく以て其總員は百名を下らざるべし是れに在朝鮮十會議所よりも二名宛參加するを以て會議出席總數は約百二十名の多きに達すべしと

▲安東縣參加 併韓の結果安東縣は朝鮮と特別密接の關係を有するに至れるのみならず近き將來に於ける安奉線の完成と共に總ての點に於て不可分の關係を誘致するに到らんとす之が爲めか今回の聯合會開催に就ても遂に對岸の火災視する能はず特に參加を承諾せられたき旨申込み來れり

▲豫定の會場 以上の如き大會合なれば普通一般の建物にては間に合ひ兼ぬ可く故に發會式は景福宮を以て之に充て會議場は廣通館を借入るゝ計劃なりと

▲中野氏の來電 東京商業會議所會頭中野武營氏は今回の聯合會議に對し最も熱心なる贊成を表し來り現に木內農商工部長官宛態々電報を以て渡來を通知し來れる由

▲人さま〳〵▼（二十） 古城菅堂君

民團議員任期延長の件に關し鈴木力君政府に質問を試む、之に對する政府の答辯に曰く一、任期を延長するは時恰かも併合に際し改選上最も不適當の時期と認めたるに因る二、一月卅一日ッが改撰を命せしは則ち同日を以て適當の時期と認めたるに因るのだとサ、茫漠雲を掴むが如きも是で澤山だ、處で京城民團民古城菅堂君政府の此答辯を見て熟々感じて曰く、何でも此流儀に限るとて夫れからと云ふもの日曜々此筆法を試み男振りを上げて居る、而ふして血氣に逸やる議員等をして呆然たらしめて居る、去年の今頃に較べると其態度非常の進步で慣れた爲めでもあろふが一ッは政府の此數訓與つて力ありだ、物外和尚の偈に言ふ「雷公の力も蚊帳の一重哉」是れ最近の君が處の器である。

京城民會雜事

△豫算查定濟 豫算委員會は三十日午後十一時にて悉く結了したれば即夜理事者は掛員を督して委員會查定案の整理を爲し報告を印刷し三十一日午前五各議員に向け招集狀を發したり

△本會議開かる 別項の如き豫算委員會結了に付き三十一日の午後六時半より本會議を開き豫算案の議事をなす筈なるが昨紙所載の通り多分十二時頃までには議事終了閉會の運びに到るならんと云ふ

△查定せる豫算 委員會の查定を經たる京城民團來年度豫算の大要を聞くに大体に於ては歲出に一千餘圓の增加を爲し居れるが其內容に就て言はゞ土木費は概して增加し役所費、公園費、學校費等には削減を加へ會議費は增額となれりと

●第一回朝鮮醫學會 客年藤田總督府醫院長によつて主唱せられし朝鮮醫學會の創立の議は京城醫師會員の悉く贊成する所となり藤田氏が熊本在職當時九州醫學會の創立委員長として盡力せられし實驗あれば氏に萬事創立上の事を一任せし故藤田氏は佐藤垣丸、古城梅溪、和田八千穗、工藤武城、石田誠、森安連吉、藤井虎彥、富永忠司、小島鼎三諸氏を創立委員に指名し第一回創立委員會を開き爾來着々準備に努めをりしが過般來京せし各道慈惠醫院長並に各地公私立病院長等を創立委員として汎く朝鮮全土の醫師に通知し來る四月二十九日三十日の兩日當京城に於て第一回朝鮮醫學會第一回總會を開き會則審議役員撰擧を行ひ引續き學術討論會を催ふす事となり目下準備中なりと因に森安博士東上に就き大學教授二三の大家の出席を交涉し又關東都督府並に滿鐵病院詰の博士學士も務て出席の筈なりと云へば頗る盛會を見るに至るべし

●平南の農鑛業 平安南道の戶口は昨年五月調査の結果朝鮮人戶數十八万八千百三十九人口八十七萬七千八百二人內地人五千六百二十戶二萬八人淸國人二千百四十八人歐米人八十人にして耕地面積は水田二萬七千七百廿町七反田廿萬一千九百九十町合計二十二万九千七百十町七反あり物產中粟最も多く八十八萬一千五百五十石次には米にて二十六萬五千九百四十七石小豆十二萬八千六十八石に達す同年十一月末調查に係る鑛數は六十七鑛別八種にして面積二千六百十七万千九百六十二坪なり

●露領出稼鮮人と鼠疫 北朝鮮に於ける鮮民が露領沿海州方面に出稼ぎするもの每年約一万人以上にして之等の勞働者の每年冬期歸鄉越年する時持歸りしもの約百萬圓に上り自然北鮮の商勢に非常の景氣を添へ居りしに今年は惡疫流行のため露領にては出稼鮮人の來るを防遏し居るため鮮民は頗る困難を感じつゝあるのみならず咸鏡北道に於ける一般商勢は甚だ不振なりと

●貴族會館の位置 朝鮮貴族間に於て貴族會を組織する事決定其家屋は多分北部齋洞にある漢城俱樂部を充つべしといふ

●海草運賃割引 鐵道院にては釜山發海草の內地鐵道運賃を左の通り特定し來る四月一日より本年十日末日まで實施する由
一梱（百六十斤十四才以內）に就き大阪、神戶、兵庫着三十七錢▲下關門司着二十錢▲久留米着四十九錢▲發着手數料を含む

●松永師團長巡視 來る四月七日歸任の筈なる松永第二師團長は歸任匆々京義沿線各守備隊及國境視察として約三十日間の旅程にて巡視する筈なり

●大屋長官の歸期 帝國議會へ政府委員として參列のため東上中なりし大屋鐵道局長官は四月二三日頃東京出發歸任の途に就くべしといふ

●趙重應子の出發 趙重應子は本日午前九時南大門發列車にて東上するに付三十一日午前十一時昌德宮に伺候し御暇乞申上げ夫より李熹公、朴泳孝侯、李完用伯等を歷訪し歸途美術工場へ立寄り土產品を購度せしといふ

●木村韓銀理事歸邦 韓銀理事木村雄次氏は既に東京を出發し途中二泊の上四日夜歸着の由

●岡崎遠光氏の歸京 日韓瓦斯電氣會社の岡崎專務は總會出席の爲め上京中なりしが廿九日夜歸京したり

●木原令息葬儀 墓地メッヂスト敎會牧師木原外七師令息安太郎子の葬儀は三十日午後四時旭町二丁目メッヂスト敎會堂に於て執行せられたり司會者は曾田嘉伊智氏にして奏樂、迎柩、讚美歌、聖書朗讀祈禱あり次に白石牧師の沈痛にして同情ある說敎あり續いて親戚總代日曜學校總代其他の弔詞あり讚美歌、訣別等を以て式を終りたるは午後六時なりし當日は雨天惡路なりしにも拘はらず會葬者は三百有餘人にして渡邊高等法院長夫妻、山形中佐、玄角警視、尹樞密院副議長、民團議員、新聞記者等官民重なる人々も多く見受けられ一式後柩は行列を正して埋葬地に送られたり

●郵便局の運動會 光化門、西大門郵便局聯合して來四月二日、三日の兩休日午前九時より北部三淸洞にて運動會を行ふ由

●江原道方面民情 江原道の鐵原、安興、伊川、平康、金城五郡地方の民情を聞くに到る處至極平穩にして何れも新政の德澤を多とし今後道路橋梁の二工事を起し專ら實業の經營に力むべく勵み居れり又恩賜金の下賜に就ては空前の盛事なりとし御下賜金を以て樹木を栽植し米穀を買入れ且つ貯蓄をなし頗る人心好良に向ひつゝありと

●鳥致院と金融機關 鳥致院は人も知る如く忠淸南北道の主都公州及び淸州に赴くには必らず此の地を通過し附近交通の要衝に當れるを以て日本市街の新設以來數年ならざるに異例の發展を見近く電燈の設備を見るに至る等昨今農工其他企業の勃興著しきより隨つて資金の需要高まりたるも何分未だ金融の完備せざる爲め市民は其の[illegible]を切望し居れる折今回當京城に本店を有する某銀行にては早くも此の機運に鑑み金融機關開始の先鞭を着けんとて同地に支店設立の計畫を立て既に去る二十二日行員數名を同地に派遣し實地踏查を行はしめたるが其結果大に有望なることを認めしを以て近々之が設立を見るに至るべし

— 公 私 人 —

▲秋本豐之進（平壤府尹）卅日平壤行
▲齋藤譲（慶尙北道內務部長）佐藤旅館へ
▲富家上義（開城釜炭鑛技師）開城行
▲宗像十郎（鎭南浦製鐵所技師）釜山
▲內野久雄（同）同
▲松脇武二（水原勸業模範場技手）水原
▲大葉三郞（山口丹金合名會社員）金城館投宿
▲宗方坪平（金州金融組合員）同上
▲平松藤太郞（機械技師）巴城館投宿

▲京城手形交換高▼

三月	金高	枚數
卅一日	一三八、五七七、七七	三二五

▲治外法權▼

寺內總督の歸任か五月だ、イヤ八月だ、とサモ重大事かの樣に心配して居るものが幾らもある、併し記者を以てすれば總督の歸任などはイツでも良い▲考へても見玉へ寺內總督には總督相應の用事が東京に幾らもある、假令ば日韓併合に關する論功行賞の如き其一トッだ、ドウしてドウして東京を拔けられるものか▲翻つて京城の方を見ると之は又案外▲總督ならでは夜の明けぬ時代は過ぎた、官紀風紀の振肅、ソンな消極的な事はモハヤ過去の夢だ、京城の爲には總督が來ても來ないでも良いのだ▲成人曰く總督にして來らずんば憲兵警察が閑暇だと、憲兵警察の閑暇は不逞の鮮人共が騷ぎ廻らぬ爲だ、何にしても總督は來ない方が良いのだ、そして憲兵警察にも少し肩を寬かせるが良いのだ▲京城山人の文中訂正を要するところが一箇所ある、夫れは外でもない我京城新報が總督から金幣を貰められてゐると云ふことだ▲我京城新報、作帰總督から金幣は貰められて居らぬ、高が二十萬圓の機密費、ソレをみんな取つたところでナンになるか、鷹は饑ねても穗は啄まぬ、況んや我新報は飢ゑるに於てをやだ▲東拓の馬鹿がまた醜態を出した、ソレは別項にある如く舍宅建築に就てだ▲井上角五郞等が魔藥灣の官營一手販賣の目的を以て會社を建てるソウだ、コンナ會社が許可されれば會社令は見だ▲觀光團に殉した社員栗原の爲に國民新聞の社葬を行つたのは近來の美事だ、栗原たる者樞密の優遇に瞑すべしだ▲一時莞島問題で世間を騷がせた江藤常作が亦たヤツて來たが、今度も金時計ゴ持參かドーか。

▲相場電報（三十一日）
[illegible]
六一、四〇〇 六一、五〇〇 六六、六〇〇
▲大阪同 ▲株式同 ▲同直同 取引所同
二九、二〇〇 二八、[illegible] 二八、[illegible]
[illegible]錢▲後場三月納會▲四月寄十六圓十[illegible]錢▲伊七十五錢▲止八十四錢 [illegible]止十九錢▲[illegible]二十二錢▲廿六[illegible] 三月出來[illegible]▲最高同上[illegible]
乘車客 二八八▲下車客 四九三 乘車貨金 五四九、一三 [illegible]
[illegible] 大阪より入港 [illegible] 長崎へ向出港

呪はれ女の半生

▽墮落の動機(一)

未だ記臆して居らるゝ人もあらう。明治三十九年頃西小門通りに秋月と云ふ小料理店があつた、今から見ると其の時分は景氣が好いと云ふのでもあつたか此の種の稼業も隨分繁昌したもので娼婦の七八人も居たのであつた。

忘れもせぬ其年の八月中の夕方であつた散歩の途次か通り掛つた男があつた其の秋月の前、眼と鼻の處に住んでた其男は風呂や散髮屋なぞで其處の主人とも見知つて居るので何時も澄して通ることは爲ない「ゐ暑う御座います」「ヤ今日は」位の挨拶は交換するのが常であつたので其の日も一寸店頭を視いたが何か忙し相で先方では氣付かずに居る、朝夕の事ではあるし又夫れ程懇意でもないしするから先方の氣付ぬのを幸ひに通り拔けた、何うした其の時の機會であつたか通り拔けた男は何んの氣もなく振向いて秋月の二階を仰ぎ見た途端、二階の窓から表通りを瞰下して居る、二十一二の一婦人の眼と男の眼は礑と會つた、其の刹那、ホンの一刹那である、彼の女は何か物に怯へた如な調子で「オヤツ」と云ふなりスート其の半身を窓の外に乘り出して男の顏を斯うヂツと見成る、敢て惡口する次第でもないが其男の顏は元來女の子に凝視られる程美術的には出來て居らぬのだ、然るに夫れを見成る彼れは一体何者であらうと胸に彼れの顏、容恣を畫きつゝ記臆を辿つて試るが一向に思ひ出せない、然るにも不思議と更らにチヨイ振り反つて見ると彼の女は其の全身を表廊下に顯して飽かず男の後姿を不思議相に見送つて居る。

生地を自慢に襦袢も着けず縞スキヤの袷子に絡の帶をキチンと締めて右の手は廊下の柱に左手に持つた絹張りの繪團扇を輕く顏に翳して。

何う考へても譯らない思ひ惱んでブラリ〳〵と歩行を運ぶ背後に輕く下駄の音が響く、如何にも夫れが聽きて聞へる、彼の女が氣に掛つて居る時である、誰れだらうと又振り反つた男の顏を見てニコリと笑つて立つて居るのは彼の女だ、ハツと驚いた男の肩を玉を展べた如な手を擧げてハタ〳〵と叩いて「矢張り貴郎だつたワ」。

此の刹那に男の記臆は六年の前に返つた、判明つた彼れは本名を渡邊とみと云ひ東京日本橋馬喰町の〇〇問屋の一人娘の夫れであつた其の資産家の一人娘たる彼れが墮落の系路は實に涙である、渠今は滿州千金寨に居るが近く上海に行かんとすると云ふ、墮落の原因及び其後の動靜は斯うである、一字一句決して嘘はないのだ(つゞく)

●東拓舍宅工事の醜聞

例の東拓會社は景福宮附近に舍宅新築工事を起したるは其都度報道したるところなるが頃ろ落成を告げしが戸數五十二戸にして是れが内譯を示せば調査役入棟(一戸住)參事十二棟(一戸住)書記技手十四棟(二戸住)雇一棟(四戸住)なるが工事費決算の結果豫算超過則ち約二萬餘圓の違算を發見したるより種々の醜聞傳へられ居る一舍宅の工事に二萬餘圓の豫算超過を見るとは如何にも眞面目に受取れぬ事なりとの非難高く、終に永井經理課長野澤技師足立參事の三氏は當面の責任者として豫算超過の失態より進退伺を呈出せり

●衛生組長引致

市内各町内に衛生組合或は衛生會なる者の組織あるが大和町一二三丁目は聯合して衛生會組織せられ居るが該會紀律紊亂して各戸より衛生費として徵收せる金員を使先き不明となり組長以下數名其の筋に引致され目下取調中なるが

詳細は後日報導す可

●日曜樓主の公判

既報の如く新町遊廓日曜樓主の抱娼妓春海事三谷ちゑを毆打したる事件起訴せられし事は既報の如くなるが該事件は三十一日京城地方裁判所刑事部法廷に於て塚原裁判長、宮脇、原兩陪席判事、境檢事の係りにて公判開廷せられ被告辯護人として木尾、岩本、豐田の三辯護士出廷し裁判長は事實の審問を初む被告の答辯に因ると娼妓春海が我儘のみ働き營業不熱心殊に當時金錢貸借關係より我儘甚だしきより仲居等と語合ひの上重なる訓戒を與へんとしたるものにして傷害するまでに至らざりし由なる事實の審問終りて證據調へ移り辯護人より娼妓春海が漢城病院にて健康診斷を受けたる際の傷害なき證明書及春海の自筆に依る當時の爪跡は僞害を受けにあらざる旨の書面を提出し尚は證人として現場に立會たる仲居中川かつ廣井まつ并に井門支店樓主を證人として喚問あらん事を申請し檢事は必要なしとの意見を陳べ裁判長は合議の上該證人申請を却下せ境檢事の論告に曰く本件の犯罪事實は明瞭なり然して微罪不檢舉なれば被告が普通人なれば微罪不檢舉として不起訴に可き問題なるも遊廓に於て娼妓虐待の聲耳にす殊に内地大阪地方に於ては娼妓待遇規則を發布しゝある狀況なれば他の樓主が如斯虐待なき樣見せしめの爲め本件を起訴したるものなれば体刑に處する必要なければ罰金三十圓を求刑する旨論告ありて辯護人は交々起ち無罪を主張し、閉廷したり

豫約募集

朝鮮總督府警務總監部屆濟(交詢社式)

朝鮮紳士錄

總クロース金文字入　菊版千ページ内外

定價一部　金五圓

豫約特價　前金一部　金參圓

申込締切期日　六月三十日

發刊　七月三十一日

登載事項

政治家、軍人、官公吏、經濟財政家、實業家、工業家、農業家、醫師、辯護士、教育家、宗教家、美術家、新聞記者

以上の外朝鮮總督府、中央地方各廳、軍司令部、師團司令部、各民團、各商業會議所、各國領事館職員錄及び銀行會社、學會、教會、寺院、協會、俱樂部等の要錄等を併載致候

本社は一昨四十二年を以て第一朝鮮紳士錄發刊の企を爲し幸に江湖各位の御贊同を得て其業を完ふ致し候、爾來年を重ぬること二、此間日韓併合の事あり世は一樣に新となり、從つて新舊人物の入替等も多々有之候茲に於てか本社は時世の必要に應せんが爲め前版を改訂增補し第二朝鮮紳士錄を發刊することゝ仕候思ふに本紳士錄が半島及び内地に於て信用調査其他交際取引等に汎く便用せらるべきは過去の經驗に徵して明かなるところに有之候仰ぎ願はくば江湖の各位幸に本社の微志を諒とせられ續々豫約御申込相成本社今回の擧を御援助あらんことを茲に謹みて公告仕候

三月

西小門通り　京城新報社

朝鮮紳士錄出版部

電話六六三番　振替口座京城四五六番

●大阪府下の大慘事

二十九日午前九時頃大阪市の東方に方り非常なる音響を聞きたるより市民は又もや爆發ならんと憂慮したるに果して府下北河内郡牧野村火藥庫の爆發したるものにて原因は目下不明なるも氣候の激變に由るものならん同火藥庫は大阪今町二丁目西村保太郎の所有に係るものにして總計三棟ある内二棟爆發し監督者鷲見鐵太郎外八名即死内五名の死体は發見したるも他は目下發掘中なり所轄枚方署にては非番巡査の召集を爲し大阪よりも巡査の應援を求め大混雜中なりと

●龍山種痘日割

既報龍山春季種痘日割は自四月三日至八日分左の如し

●四月三日自午前九時至午後四時(元町二丁目分教所にて)元町一二丁目、漢江町、清水町、梅町、櫻町、白川町、山手町●同上(同上にて)分教所生徒全部●四月五日同上(元町三丁目本願寺にて)元町三丁目、凱旋町、旭町、通新町、大島町、老松町、若松町●四月六日同上(同)榮町、川端町、錦町、元町四丁目、東町、祝町、大廣町、京町(舊市街のみ)●四月七日午前中(麻浦駐在所にて)麻浦方面內地人のみ午後(桃山陸軍病院にて)桃山町●四月八日自午前九時至午後四時(漢江駐在所)漢江一圓(以下次號)

●小學校長の謝狀

龍山小學校長三分一謙藏氏は本社が同校優等卒業生に對し賞品を贈呈したるに對し左の感謝狀を寄せられたり

拜啓此度本校卒業兒童に對し奬學之旨を以て結構なる御品御寄贈に相成難有奉謝候將來此美擧之影響する處多大なる効果可有之信じて疑はざる處に御座候乍失敬書中御禮まで得貴意候敬具

三月廿七日　龍山小學校長　三分一謙藏

京城新報社長　峯岸繁太郎殿

●河合校長の來訪

京城日の出小學校長河合精一氏は去る二十九日優等卒業生總代三名を同伴本社長を來訪し賞品贈呈に對し謝意を表せられ工場を參觀して引き取られたり

●汽船暗礁に乘上

仁川協同組の元扱ひたる吉辰丸は唐津より石炭及陶器類を滿載し卅一日仁川入港の筈の處卅日夜來の風雨にて激浪烈しかりし爲め木浦沖に於て暗礁に乘上げしとの事にて協同組へ宛三十一日朝電報到達したる由因に積載せし石炭は仁川橋本林田及京城の近藤氏等の物にて合計千二百噸斗りなりと

●仁川の捕鼠抽籤

三十一日午後一時抽籤執行の結果一等は千九百九十二番にして龍洞仕金宗萬當籤したり二等二本　二二九〇、四一八六、三等五本　四八七六、八六〇、二六九六、一五一〇、一五六二(以下略)

●難破死体の漂着

三十日午前三時頃仁川小月尾島沖合に於て風波の爲め轉覆したる鹽田組の團平船七十三號の乘組員大和春吉(三〇)が行衛不明となり搜查中の事は既報の通りなるが同日正午頃に至り鹽田組の舟艇乘組員大和春之助が月尾島元軍用棧橋の附近にて同人の死体を發見し引上ヶ早速其筋に屆出たれば久木田醫士及警官出張檢視の上死体は內縁の妻小坂ヨシに引渡したり

●判決二件

大分縣人所野要(三〇)の横領罪は懲役三ヶ月▲山口縣人宇度支部原吉本壽衛(三〇)の横領罪は懲役五ヶ月に孰れも三十一日判決申渡さる

●演藝だより

●青年講演會　明治町淨土宗開教院に於て四月一日午後七時半より廿八回青年講演會あり宗横江開教使の演說「歷史上より於る佛祖」及會友の感話ある由

●歌舞伎座　雲右衛門四月一日より開演の筈なりしも釜山にて好人氣の爲め二日間日延となり愈々二日當地へ乘込み三日午後六時より初日開演すと云ふ

●壽座　愈々本日より壯絕快絕なる藝仙人片田源七翁の神術は夜興行として午後六時より尙正午十二時より午後六時迄は好評ある立志劇一行の喜劇あり特に觀覽料は特等を除く外下足木戶共一人十五錢均一にて一日の藝題は江戶兒五揚重なる配役は大工長五郎(花島)女房かめ(淺井)娘お花(實井)辯護士福澤(稻葉)書生春日(村山)同山本、田舍親爺多作(郡)紳士(北村)

日の運勢

●四月一日舊三月三日八白辛丑大安開△一白●觀み多し●諸事謹愼の事旅行金談移轉屆起業開店婚談凶△二黒　屈伏にあふあり又業務上不振の日投機的射倖的行爲を禁ず△三碧●業務上見込違ひあり又爭論不和負傷を戒しむ旅行婚談起業開店凶△四綠●澁滯延塞ある日なり取引授受金談貸借中裁婚談尤も注意の事起業開店旅行凶△五黃●職務上失念疎漏生せんとす尙負傷器具損壞の恐れあり△六白●收利便宜のある日なり但し業務上常軌を逸して誤りあるへし△七赤●婚談取結び談合訂約に良し總じて會心の日大吉△八白●起業開店旅行婚談移轉受印を禁ず酒色盜難を戒しむ△九紫●業務上平和の日又開運の日なり入學門起業開店仕官就職に好し　本町五丁目三二號判斷

取引所

▲大阪期米　●三十日前場　三月止十五圓九十五錢▲四月止十六圓十五錢▲五月止二十四錢

●三十日後場　三四月出來不申▲五月十五錢▲最高八十四錢

▲南大門驛乘降客　三十日の分

▲龍山驛乘降客　三十日の分　貨物賃金　四二、二三〇　乘車客　一二三三　下車客　九二五

▲東九　一日神戸より入港

▲薩摩丸　同　長崎へ向出港

▲大阪丸　同　大阪へ向出港

▲安東縣丸　同　安東縣へ向出港

廣告

●加越能郷友會

明二日午後時より東西軒町寶六庵に於て加越能郷友會春季大會を開き候間万障御繰合せ御出席相成度候會費金一圓七十錢當日御持參の事

尙は當日は御小供衆の爲めの特に面白き餘興を催し候間可成御家族及御知人御勸誘の程を希望仕候

出席御希望の方は當日午前中荒井牧場、橫山隆一、木村精一の內へ御申込み相成度候

四月一日　幹事

廣告

一白米貳百五拾石外壹點

右購買ヲ競爭入札ニ付ス詳細ハ三月三十一日以後朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ

明治四十四年三月卅一日　朝鮮總督府

購買入札公告

一四百磅鑄綠壹萬貫外四點其他十四點

右購買ス詳細ハ三月三十一日ノ朝鮮總督府官報ヲ見ル可シ

明治四十四年四月一日　朝鮮總督府通信局

朝鮮語講習生募集

四十四年四月十日より新學期開始

一、募集人員甲組三十名乙組五十名

一、學費束修金一圓、月謝金一圓

一、授業時間每日午後七時より九時迄　但日曜大祭日を除く

京城大和町東洋協會專門學校京城分校

附屬韓語講習會

謹告

小生仁川日本人商業會議所在勤中は種々御芳志を辱ふし候處今般辭職し專ら社業に從事致す事と相成候間不相變御厚誼願上候

三月三十日

仁川朝鮮新聞社　萩谷籌夫

辱知諸君

密　嚴守　秘

諸公債　株券　現物　定期　賣買

誠　實　機　敏

大阪東區今橋二

大阪株式取引所仲買人　西村義之助商店

京城明治町一丁目

西村京城支店　電話一一七六番　一九二番

致富の捷徑及株式便覽御希望の方は御申込次第進呈可致候

取扱店　仁川外海岸　笠目仲買店　電話一六三番

取扱店　龍山本町三ノ一目　鵜野彥支店　電話一二〇番

眼科

京城本町六丁目(元軍司令部通)

金井眼科醫院　電話一五五六番

院主　前大韓醫院眼科部長　金井豊七

京城樂園

花見御案內と

大園遊會場と庭園の珍庭

大運動場と遊動圓木

(寶六庵之梅)

一弊庵之諸花漸く花の季節に入りはつ〳〵と蕾を破り初め茲數日の內と存じ候殊に梅花は兩三日以後見頃と相成申べく候間何卒御來遊の程希上候就ては御山上りの御遊び多人數樣の園遊會及び花見の御宴會并に御集會等の貸席山貸等各位樣の御便利御手輕大勉强を以て如何樣の御相談にも應ずべく候間御用之程を一せ附下され度偏へに希上候猶又御婦人御子達御同伴御辨當御持參御遊び之程も希上候風呂は每日相立七曜日曜祭日はミルク湯を相立申候

會席御料理　御山上り折詰辨當　園遊會摸擬店用

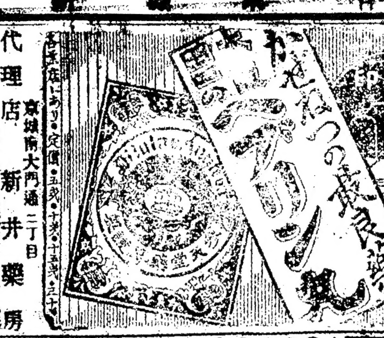
寶六庵　電二一四

●諸公債諸株券現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業 既製洋服御小賣 官衙御用達
京城本町三丁目
大阪野村商店代理店 田中友吉商店 電話九九三

●かれこれと迷ふこと勿れ 完全無缺の大學目藥あり

大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●爛目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり

發行所元 大阪市北濱二丁目 參天堂藥房



代理店 京城南大門通二丁目 新井藥房
電話九百四番 振替口座京城千六十八番

壺齋流割烹
す津祢
南山町一丁目 電話千五百二番

黑杉活動寫眞大會
○家庭教育新派 大々悲劇 女の教 全十二幕 総色入 (椿子鳴物)
藤尾勇治志を立て東都出發より石谷筆子悔悟して悲慘の最期を遂ぐ迄
○實寫 天然色寫 印度セイロン島の絶景
○滑稽 (實物) た轉婆娘の人さわがせ
○映寫 タスマニヤ島 ヲツトセイ狩實景
○魔術 極彩色彼の女の花
○實物 映寫 ニューヨルク市の所見
○實物 映寫 アルプス山 鹿狩の實景
○西洋 喜劇 伯父様のかづら
○實寫 遠洋中漁業の實景
○冒險 映寫 北極探檢
四月一日ヨリ 京城南大門外於御成座

農林と園藝
◎山林用及園藝種苗の供給
◎造林其の他森林及び農業土木の請負
◎果樹園設計及び植付け管理の請負並に實地指導
◎農産製品商造材料の販賣
◎委托販賣
◎詳細は農業案内は御申越次第贈呈す
本店 京城南大門通御成町十二番戸 朝鮮農林商會 (電話一四六〇)
主任 井上楢太郎
出張所 釜山寶水町二丁目一五一番戸

京城本町二丁目百三十銀行横
野田齒科專門醫院
電話一〇四七番

文房具 和洋紙 測量器械
シノサキ本店
京城本町一丁目郵便局前
並買次營業申候
電話六四八番 振替朝鮮一五四番

◎和洋珍草花類種々
◎庭園用樹類各種
◎果樹木苗木類良種
◎山林苗木類種々
◎盆栽及觀賞植物類
◎庭園築造工事請負
時下春暖之候各位益々御壯健率大賀候然而僕園例年の通り母國各産地より澤山輸入致し安價大販賣仕候條愛園諸彦目下移植好時期に候間此期を過ぎずに少に拘らず陸續御購求被下候也〇街幹園は盆栽類草花類の鉢植も至極簡便に且つ僅少の損料にて希望の方に貸付け仕る可く御望の方はハガキにて御通知被下度候
京城旭町一丁目第四十九番 萬樹園 植田常藏

家傳 名灸(どいや)
●うちみ くじき はねつき
特に 胃腸病 かつけ 專門
毎日午後二時迄點灸す
明治町一丁目百十番戸 荒川マッサージ院

龍山櫻町百十一番戸
毎日午後二時より五時迄出張
整骨專門治療院
主任醫 村田象
但し先代よりの家傳と當時の治術とを斟酌し如何樣の折骨難患も之を治癒せしむ
先代の門弟 助手 中野伊之七

目録進呈
洋式帳簿
帳簿は種々の出來合品あり大概の御註文帳は直に間に合はず尚特別誂の物も如何樣にも調製致候
東京銀座三丁目 伊東屋
電話京橋一三二九・一七九六 振替口座五一一一

英國セフヒールド市シーボムアンドデイキスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑢各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處清鮮地に材料穿鑿具製作用こして最も適當の爲め至極好評を博し價格又内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
京城本町五丁目
和洋金物商 藤 釘本藤次郎本店
(電話四五番 電信略號「ク」) 振替貯金口座京城二五六番

朝鮮代理店

京城南大門通三丁目 新井藥房

朝鮮牛種及牛乳改良元祖
當場飼畜の乳牛は悉くエーアシヤ、ホルシ、ホルスタイ、ンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり
當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
消毒 高等 純良 牛乳
京城南大門外 荒井牧場 (電話一〇五六番)
龍山本町三丁目 龍山販賣所 (電話二〇二番)
當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候
當場には御進物用牛乳切手發賣致候
其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候

紙と印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本(ハリモト)商店
京城本町六丁目 電話百拾番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
韓國銀行
支店出張所 (大阪、仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣)
電話 (參參壹番 壹貳六〇番 六壹貳番 壹貳六壹番)
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

義齒術全般
京城南山町二丁目(伊藤組前に入る)
小倉三郎
電話

本價 三日分 廿錢 七日分 四十錢 十四日分 七十五錢
日本大阪 高橋盛大堂 代理店
京城本町五丁目 木下大盛堂
同南大門三丁目 新井藥房
到る所の藥店に販賣す

土地建物鑛山株券賣買
一各道鉄道山林未墾地の賣物あり
一全羅南道に四千七百餘町歩の賣物あり
一京城市内に店舗住宅の賣物殆多あり
一金銀銅鐵鑛山賣物あり
一確實なる擔保を以て貸金の御用に應ず
一年利一割二歩以上公債株券多少に不拘買入れ候
一土地家屋管理依頼に應じ申候
小林藤商店
京城明治町三丁目 電話六五五番

種子販賣 豫約 京 富士
苗木募集 豫約 消 國
蔬菜募集 水原 園
營業案内は御申込次第進呈す
振替口座 北京城 澤小二 八五三番

◎貸金 旭町二ノ一五 別府高橋
有給者には極秘密に低利融通可申候

入院隨意
内科 小兒 外科 梅毒淋病
京城壽町三丁目 高井醫院 電話(二二六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

長崎流
(○しるこ)
(○茶碗むし)
(○むし壽し)
松ぞの
南山町二丁目(南山踏上際)
(出前も御好に應じ可申候)
(電話一一八五番)

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九百四番 振替口座京城千六十八番

資本金五百萬圓
神戸海上運送火災保險株式會社
出張所 京城明治町一丁目 (電話一五四九)

新荷着
浪平板 洋釘各種
多數御入用の御方は特に安價に御相談致可候
京城本町貳丁目
和洋金物商 彦 佐野彦藏商店
電話一六三番 振替口座京城一二〇番

印章彫刻 ゴム印彫刻
京城本町四丁目
赤帽子號印舖
諸官衙御用達 奥野岩太郎 電話九三番

來れり
寫眞撮影の時季
幻燈器械
寫眞器械
藥品材料一切
旅行用娯樂用營業用
直輸入
京城本町四丁目 織居寫眞機部
電話二六二番 振替貯金二一三一番

清正 政宗 正則 釀造元
上酒 小賣壹升に付三十錢
卸賣は特別割引可仕候
請御試用 清酒 焼酎 味淋 醸造元 並に日用食料品雜貨類
京城壽町三丁目 中井酒造場販賣部
電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員として送達致させべく候

池田商會製菓品
ライト、ムンライト、サンライス、朝鮮飴其他朝鮮みやげ品各種
石鍋、石器類 食料品、雜貨
京城南大門前 池田商會
電話七五九番 振替口座京城二四七番

田舍行駄馬運搬所
朝鮮人向物品委托同屋
京城東大門通 池田商會出張所
電話千五十番

鐵冷温泉
此の温泉は左のかき病に殊に妙あり
一かっけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひふ病、梅毒、りん病、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、ぜんき、腸胃加答兒、肺病、ソんけい症、きりきず、其他内用には鐵冷温泉を併用すれば尤も効能あり
きゝめのある温泉湯
旅館 浴客 貸席
長谷川町一丁目韓銀建築所北横手 電話一四一番